

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-249899

(43)公開日 平成5年(1993)9月28日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 F 7/06		H 7028-5G		
A 4 1 D 27/08		C		
G 0 9 F 7/00		N 7028-5G		

審査請求 未請求 請求項の数2(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-84930

(22)出願日 平成4年(1992)3月6日

(71)出願人 592076021

株式会社静文

静岡県清水市横砂西町8番37号

(72)発明者 吉口 新吉

静岡県清水市横砂西町8番37号

(74)代理人 弁理士 東山 喬彦

(54)【発明の名称】 ゼッケン等の装着構造

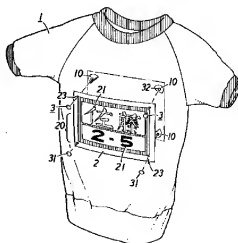
(57)【要約】

【目的】本発明はスポーツ競技者等が用いるゼッケンや学章等が用いる名札等を衣服に対して取り付けるための構造に関するものであって、特にゼッケン等を装着、取り外し自在にできるようにした新規なゼッケン等の装着構造に関する。

【構成】本発明のゼッケン等の装着構造は、ゼッケン番号や氏名等の表示の施された表示シート2を衣服1の一部に取り付ける構造において、前記表示シート2は衣服に対し、弾性係合するプラグ片32とソケット片31とを具える止め具3によって互いに貫通状態に取り付けられることを特徴とする。

【効果】本発明は依據着等の衣服1に対しゼッケン等の適宜の表示21を施した表示シート2を装着するにあたり、これらを止め具3によって着脱自在に装着するようにしたものであるから、ゼッケン、名札等の取り付けが極めて容易に行い得る。

- 1 衣服
- 2 表示シート
- 3 止め具
- 10 縫片
- 21 表示
- 31 ソケット片
- 32 プラグ片



【特許請求の範囲】

【請求項1】 適宜の表示の施された表示シートを衣服の一部に取り付ける構造において、前記表示シートは衣服に対し、弾性係合するプラグ片とソケット片とを具える止め具によって互いに貫通状態に取り付けられることを特徴とするゼッケン等の装着構造。

【請求項2】 前記衣服側には止め具の一部が外側に突出し得る保持片が設けられるとともに、表示シートには止め具の一部が貫通する接続孔を見えていることを特徴とする請求項1記載のゼッケン等の装着構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の目的】

【産業上の利用分野】本発明はスポーツ競技者等が用いるゼッケンや学童等が用いる名札等を衣服に対して取り付けるための構造に関するものであって、特にゼッケン等を装着、取り外し自在にできるようにした新規なゼッケン等の装着構造に係るものである。

【0002】

【発明の背景】例えば学童用の体操着には本人の氏名や学年、学級等を表示した名札ないしはゼッケンを設けることが行われている。この装着手法の多くは氏名等の表示をした表示シートを、体操着等の衣服に対し縫い付けたり、あるいは一時的な使用の場合には安全ピン等で留めるようにしていた。

【0003】しかしながら衣服にこの種のゼッケン等を縫い付ける場合にはその作業が面倒な上、この種の衣服が汚れたり破損したりすることを考慮して何着か用意される場合には、それらにそれぞれ縫い付け作業を行わねばならず、煩わしき更に甚だしいものであった。またこの種の体操着はメリヤス生地等の伸縮性のある素材であるが、ゼッケン等の素材は通常伸縮性はなく、従って洗濯を重ねるごとに伸縮具合の相違から、つれたようになってしまうという不都合もあった。更にまたこのようなゼッケン等の表示シートを特定の体操着等に縫い付けてしまった後には、他のゼッケンに付け替えるにしてもその都度縫い目をほぐし取り、新たに別のゼッケンを縫い付けるという極めて手間のかかる作業を必要としていた。

【0004】また安全ピンによる取付手法は一時的な手法とはいえず金属製の尖端部材があるため、激しく運動した場合などでは尖端部材が外れることも予想され、必ずしも安全なものと言いきれない。

【0005】

【開発を試みた技術的事項】本発明はこのような背景からなされたものであって、ゼッケン等の表示シートを衣服等に装着する場合、その装着及び取り外しを極めて簡単に行える新規なゼッケン等の装着構造を提案しようとするものである。

【0006】

【発明の構成】

【目的達成の手段】即ち本出願に係るゼッケン等の装着構造の第一の発明は、適宜の表示の施された表示シートを衣服の一部に取り付ける構造において、前記表示シートは衣服に対し、弾性係合するプラグ片とソケット片とを具える止め具によって互いに貫通状態に取り付けられることを特徴として成るものである。

【0007】また本出願に係るゼッケン等の装着構造の第二の発明は、前記要件に加え、前記衣服側には止め具の一部が外側に突出し得る保持片が設けられるとともに、表示シートには止め具の一部が貫通する接続孔を具えていることを特徴として成るものである。これら発明により前記目的を達成しようとするものである。

【0008】

【発明の作用】プラグ片とソケット片を具えた止め具によって表示シートと衣服とを互いにワンタッチで接続させることができるから、その装着作業あるいはゼッケンの付替作業が極めて容易に行い得る。

【0009】

【実施例】以下本発明を図示の実施例に基づいて具体的に説明する。符号1は本発明を適用した体操着等の衣服であって、このものに氏名やゼッケン等の各種の表示がされた表示シート2を止め具3によって装着する。

【0010】まず表示シート2が装着される体操着等の衣服1について説明すると、一例として図1に示す実施例は体操着等の衣服1の胸部に表示シート2を設けるようにしたものであって、この胸の部分には一例として方形に保持片10を四方所設けるものである。この保持片10の好ましい実施例は、例えば図2に拡大して示すように半円形状をした袋状部材とするものであって、その内側をポケット部11とするとともに、その裏面側のシートを接着部12とする。

【0011】そしてこの接着部12は例えば布に対し衣服1との接着側に熱可塑性樹脂を積層させたものであって、例えばアイロン等を上からあてがうことによりこの保持片10が衣服1の所定の位置に熱溶着されるようになることが好ましい。勿論、取付手法はこのような熱溶着手法に限られるものではなく、通気ミシン等による縫い付け手法であってももとより差し支えない。

【0012】一方、保持片10の外側面にはポケット部11側と連通するような接続孔13を設ける。因みにこの接続孔13からは後述するように止め具3の一部が外側に突出するようになるのである。勿論、保持片10についてはこのように半円状をしたポケット状のものに限らず、例えば図4(a)に示すような三角形状、あるいは図4(b)に示すような四角形状、更には図4(c)に示すように帯状の部材を張り付けたような部材であってもよい。

【0013】次にこのような衣服1に対し設ける表示シート2について説明する。まず図1に示すものはいわゆる

るゼッケンタイプのものであるが、図5に示すように例えば学生服等の胸脇部に設ける名札状のものであってもよい。表示シート2は例えばゼッケン状のものの場合には図2に示すようにその素材として例えば中間部に合成樹脂シートを挟み込み、その表裏両面に布を積層させたような材料を用いた場合にはその剛性が高く、その端部において切り離し状態のまま縁がかりをしなくてもほつれることがない点で好ましいものであるが、それ以外でも使用可能な材料であれば合成樹脂シート、不織布等適宜の材料を用いることができる。

【0014】まず表示シート2の表面は表示部20となるものであり、この表示部20は表示シート2の片面のみに設けてもよいし、あるいは裏面をも表示部20として利用してもよい。このような場合には表、裏それぞれ異なる表示をしておけば表示シート2を裏返して用いるように多様な表示ができる点で好ましい。そしてこの表示部20には例えばスポーツ競技等の場合にはゼッケン番号、あるいは学童等の体操着等の場合には所属学年、学級、学籍番号、更には氏名等を表示した適宜の表示部21を備え込むものである。そして表示シート2の四隅部には前記保持片10の位置に対応して接続孔23を開口させる。

【0015】次に前述した衣服1に対し表示シート2を取り付けるための止め具3について説明する。この止め具3はそれぞれ弾性変形可能な例えばプラスチックに構成されたソケット片31とプラグ片32とが対となって構成されるものである。即ちソケット片31は円盤状部材の内側中央部（プラグ片32と対向する側）を開口部とした挿入孔31aを具えたものである。一方プラグ片32は円盤状部材の内側（ソケット片31側）に挿入突起32aが突出したものであり、このものは前述の挿入孔31aに嵌まり込んで接続作用を行う。そして前記ソケット片31における挿入孔31aはプラグ片32における挿入突起32aを、互いに接続した状態においてその接続状態を維持できるように（抜け出ないように）その径を中太状に構成している。

【0016】本発明の基本的な実施例は以上述べたような構造を有するものであり、これを用いるにはまず衣服1に対しあらかじめ保持片10が固着されていない場合には、例えばユーザーがアイロン等によって保持片10を衣服1の所定の位置に置き、これ接着させる。このようにした後、この保持片10のポケット部11をを利用してそこに止め具3におけるプラグ片32を挿入し、その挿入突起32aを接続孔32aから外側に出るような状態とする。このようにした後、表示シート2における接続孔23を前記プラグ片32における挿入突起32aの位置に合致させるとともに、表示シート2の表面から止め具3のソケット片31をあてがい、止め具3のソケット片31における挿入孔31aに対しプラグ片32の挿入突起32aを弾性的に嵌め込むようにするので

ある。この作業を一例として四方所行うことによって衣服1に対し表示シート2が取り付けられる。

【0017】

【他の実施例】更にこのような技術思想に基づき種々の応用が可能である。例えば止め具3については、要はソケット片31とプラグ片32とが弾性的に嵌まり合うような部材であれば適宜のタイプのものが適用できる。例えばこれらは直径10mm以下の極めて小片状のものであるから、それらの紛失を防ぐために図7に示すように連結紐34によって一体化された構造となっていることも好ましい。

【0018】また図8に示すように止め具3におけるプラグ片32の挿入突起32aの先端部分を幾分か尖らせ、図8に示すように衣服1及び表示シート2にあらかじめ接続孔23が形成されない状態であっても、これらを突き抜けて止め具3が装着できるようにすることもより可能である。このような場合には、例えば使用者の身体にプラグ片32が直接触れることも予想されるから、例えば図9に示すようにプラグ片32のフランジ状部分にはフェルト等の保護パッド35を設けるような構造としてもよい。

【0019】また止め具3においてはこのものに装飾効果をもたせ、例えば表側から露出されるソケット片31に付し、例えば貴金属あるいは宝石類等を設け、装身機能を対し、使用者の嗜好に合わせる事ができる。

【0020】

【発明の効果】本発明は以上述べたような構成を有するものであり、体操着等の衣服1に対しゼッケン等の適宜の表示部21を施した表示シート2を装着するにあたり、これらを止め具3によって着脱自在に装着するようにしたものであるから、ゼッケン、名札等の取り付けが極めて容易に行い得る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のゼッケン等の装着構造を適用した衣服を示す斜視図である。

【図2】本発明のゼッケン等の装着構造を拡大して示す分解斜視図である。

【図3】同上縦断側面図である。

【図4】保持片の他の種々の実施例を示す斜視図である。

【図5】表示シートの他の実施例を示す斜視図である。

【図6】止め具に連結紐を取り付けた実施例を示す斜視図である。

【図7】プラグ片の挿入突起の形状を異ならせた他の実施例を示す縦断側面図である。

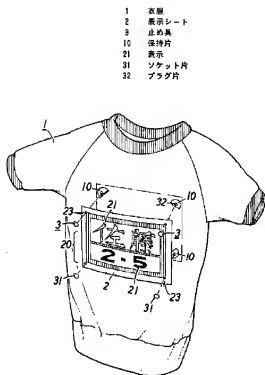
【図8】プラグ片のフランジ状部分に保護パッドを設けた実施例を示す縦断側面図である。

【図9】衣服にゼッケンを取り付ける場合に必要となる部材一式を示す斜視図である。

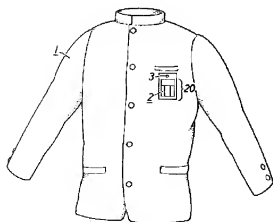
【符号の説明】

- 1 衣服
- 2 表示シート
- 3 止め具
- 10 保持片
- 11 ボケット部
- 12 接着部
- 13 接続孔
- 20 表示部

【図1】

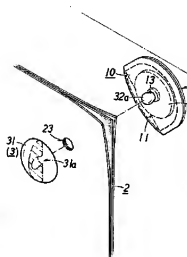


【図5】

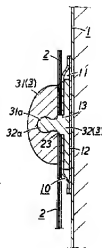


- 21 表示
- 23 接続孔
- 31 ソケット片
- 31a 挿入孔
- 32 プラグ片
- 32a 挿入突起
- 34 連結紐
- 35 保護パッド

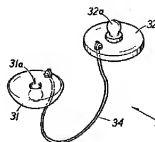
【図2】



【図3】



【図6】



【図7】

